工務店・ビルダー様のトータルソリューション情報誌

KITAKEI-Report

No.116
April 2019

発行：北恵株式会社　〒541－0054　大阪市中央区南本町3－6－14　TEL.06－6251－6701
http://www.kitakei.jp/

住まいづくりもSDGsの時代

世界各国は、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2度未満に抑え、さらに1.5度未満にすることを目指す〝パリ協定〟を踏まえた政策を推進しており、日本の環境・エネルギー政策もこの流れの中で進められている。ZEHを始めとした住宅の省エネ政策もその一環だ。ここ最近、パリ協定とともに日本でも取り上げられる機会が増えてきたのが「SDGｓ（エスディジーズ、持続可能な開発目標）」。建築関連企業や地場工務店でもSDGｓを掲げる事業者が少しずつ増え始めている。

SDGｓは2015年9月の国連総会で採択された目標で、17のゴール＝下図参照＝を目指し、持続可能な社会構築のために投資や技術開発、経済成長を進めていこうという考え方。少子高齢化・人口減少が急速に進む日本では低成長が当たり前に感じられるが、世界規模で見ると人口は増加しており、アフリカやアジア、南米などで経済発展が著しい国々が少なくない。人口増加や経済成長に対応した急速な開発が必要なため、エネルギー消費は拡大せざるを得ず、それがCOP（気候変動枠組条約締約国会議）での、先進国と新興国との対立を生んでいる。

ＳＤＧｓはこうした現状を踏まえた考え方。例えば、パリ協定の気温上昇を2度未満に抑えるという目標実現に向けて、途上国のメガソーラー建設に投資するといったことが考えられる。

建築・住宅業界もゴール11の「住み続けられるまちづくりを」をはじめ、大きく関係している。日本の住宅業界との関連で考えると、例えば、ZEHの推進とそれに関連する太陽光発電システムやHEMS、IoT、蓄電池の研究・開発などまさにSDGｓに沿った政策といえるだろう。

地場工務店などビルダーも、住まいづくりなど自社の事業を、SDGｓのゴールを踏まえて整理し、改めて目標を設定していくことが、これからは求められる。

（2、3面に具体例を紹介）

SDG sに取り組むには関連するゴールとターゲットをセレクトすることが、まずは必要になる。建築環境•省エネルギー機構（IBEC）の村上周三理事長は、建築界に関わりの深い 10 のゴール（↓）を取り上げる。これらは相互に関連しており、経済・社会・環境の統合的な取り組みによる、建物づくり・まちづくりのパラダイムシフトにつながる。

建築界に係りの深いSDGsのゴール

3 健康	健康住宅の推進　等
7 エネルギー	省エネ建築の推進　等
9 産業	イノベーションによる建築産業の活性化　等
12 資源循環	LCCM建築の推進　等（ライフサイクル･カーボンマイナス）
15 森	木造建築の振興　等

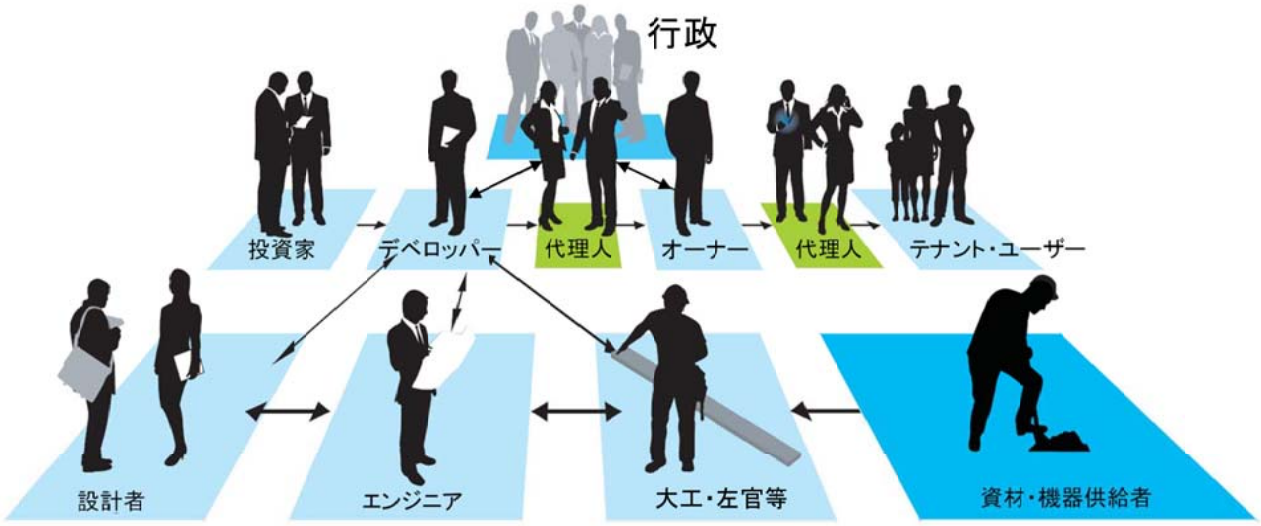
4 教育	次世代に向けた優れた学校建築　等
8 経済成長	環境不動産とESG投資　等
11 まちづくり	住みやすいまちづくり　等
13 気候変動	グリーン建築の推進　等
17 パートナーシップ	供給サイドとユーザーサイドを結ぶパートナシップの推進　等

→ 経済・社会・環境の統合的取組がもたらす、建物づくり／まちづくりのパラダイムシフト

また、建築は常につくるものが異なり、参加する人も違う。そのため、そもそも、多数のステークホルダーと協調することが求められる統合的な事業だと言える。その意味で、SDG sという共通言語を使うことで効率的な連携も期待できる。

地場工務店も、職人や協力会社、流通関係者、林業・木材関係事業者、地域づくり関係団体、さらには施主など、様々な関係者と関わる際に、SDG sを共通言語にすることが考えられる。

建設プロジェクトには、多数のステークホルダーが参加する



⇨ アセンブリー産業として多数の関係者と協調する必要がある

⇨ SDGsという共通の言語を使用することで効率的な連携がとれる

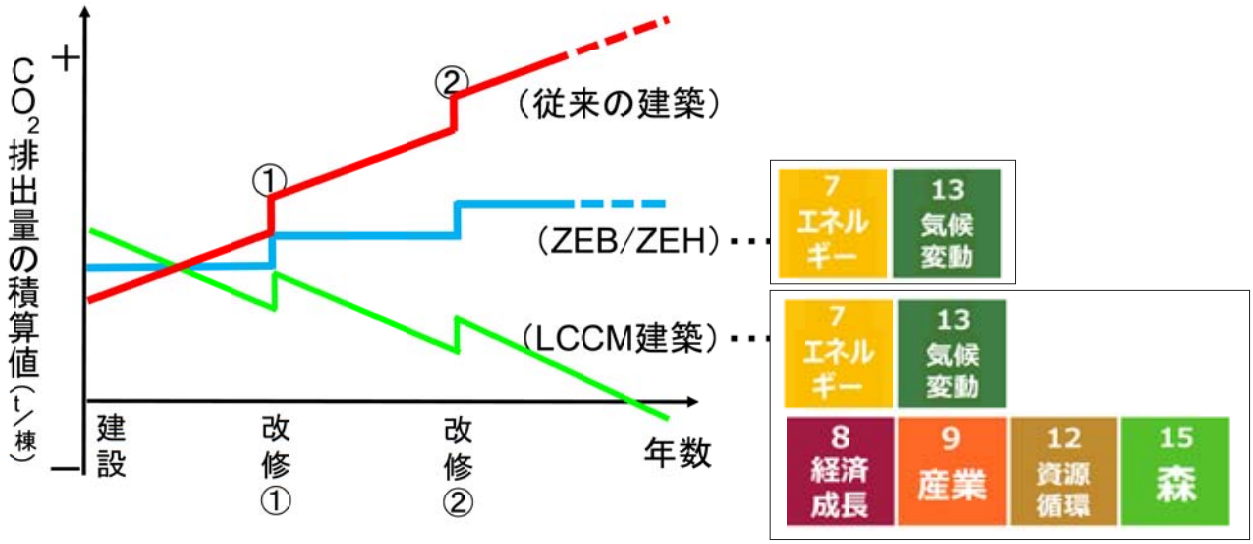
事例1: 木造建築の振興における統合的取組の視点

例えば、木造建築を振興することによって、資源循環や国土保全、生物多様性、脱炭素化、地域雇用、健康・快適、技術開発、グリーン生産・消費・流通――など、諸課題の同時達成が期待できる。

➪ 統合的取組がもたらす諸課題の同時達成

事例2: 統合的取組による省エネのパラダイムシフト

従来の建築・住宅の場合、CO2 排出量は年々積み重なっていくが、ZEH の場合は大幅に抑えることが出来、ゴール 7「エネルギー」や 13「気候変動」に貢献する。さらに、LCCM（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）住宅は排出量がマイナスになっていくため、8「経済成長」や 12「資源循環」など 6 つのゴールの実現に寄与する。



➪ 運用段階中心の省エネから、建設・運用・改修・廃棄までを含む統合的省エネ計画

➪ さらに、資材・資源・流通 等に対する視点も含む

➪ コベネフィットとしてもたらされる
長寿命化、環境負荷削減、ウェルネス向上 等

キタケイの提供する2つのプライベートブランド
環境・ぬくもり・素材をテーマとした各種住宅資材　“ スプロートユニバーサル ”
天然木にこだわったフローリングや壁材　“ リラクシングウッド ”
企画・製造から販売までトータルにプロデュース、心からご満足いただける住まいづくりを
バックアップします。

SPROUT UNIVERSAL SERIES

www. sprout－univ. com

relaxssing wood

www. relaxssingwood. com

リラクシングウッド　無垢フローリング　シリーズ